



もちを担いで神社を出発する氏子の2人(写真左)。赤米甘酒をついでもらう新本小の子どもたち(写真右)



赤米の収穫を祝い、伝統をつなぐ

霜月祭

赤米の収穫を祝う霜月祭が12月12日、新本の本庄と新庄の両国司神社で行われました。

本庄国司神社では、田植えから収穫までを体験しながら、赤米について学んだ新本小5年や地元の人ら約50人が神事に参加。訪れた人たちは、振る舞われた赤米の甘酒の味を楽しんでいました。

新庄国司神社では、翌年の祭の当番を決める伝統行事「かけりもち」が行われました。氏子2人が、フクラシの木にくぐられた餅を担ぎ、神社を出発。神田跡の姥御前を折り返し神社に帰ってきた2人に、参拝者たちは大きな拍手を送っていました。

大学ができる子育て支援を考える

子育てカレッジシンポジウム

子育てカレッジシンポジウムが12月13日、岡山県立大学で開催されました。

まず、東京北社会保険病院の神山潤院長が、子どもの規則正しい生活習慣の重要性について講演



シンポジウムの様子

しました。

基調講演では、神戸大学大学院の伊藤篤教授が、神戸市と連携して、同大のなかに設置した子育て支援の拠点「あーち」の成り立ちや運営、効果などについて紹介しました。

引き続き行われたパネルディスカッションのテーマは、「子育て支援に関するより良い大学・地域・行政の協働」のあり方・可能性。パネリストは、神山さんと伊藤さん、「にいみ子育てカレッジ」を運営する新見公立短期大学の片山啓子教授ら5人です。大学内に設置され、地域ぐるみの子育て支援の拠点である「子育てカレッジ」について、支援するサービス内容の整理や、取り組みの輪が広がることへの期待、地域のニーズに沿った拠点づくり、大学の個性を出すことなどについて、各パネリストから意見や提言が発表されました。

みんなで新成人を祝う

成人記念式

新成人約600人が出席して成人記念式が1月11日、市民会館で開催されました。

新成人代表の大人になる思いの発表や恩師からのビデオレターの上映などのなか、新成人は、大人の仲間入りへの決意を新たにしていました。

また、「ペットボトルのふた800個でワクチン1本」という社会貢献活動に、新成人たちは取り組みました。集まったふたの数は約2万1000個。閉式でそのふたを披露し、「今後も社会貢献を」と、実行委員は呼び掛けていました。

Photo News



成人記念式の開式で「心に残る式にしましょう」と呼び掛ける実行委員。式は、新成人の有志で構成する実行委員会が企画・運営した(写真上)。会場に設けられたペットボトルのふたの回収箱に、持参したふたを入れる新成人たち。実行委員会の呼び掛けで行った、大人の仲間入りの第一歩としての社会貢献活動だった(写真左)



体操の水鳥寿思選手(左から3人目)に跳び箱の指導を受ける子ども

体を動かす楽しさを体験

総社わくわくスポーツデイ

スポーツをする楽しさを体験してもらおうと、総社わくわくスポーツデイが12月13日、市スポーツセンターで開かれました。

サッカーJ2昇格を決めたファジアーノ岡山の選手8人によるサッカー教室や、アテネ五輪の体操団体金メダリストの水鳥寿思選手の体操教室、幼児向けコーナーなどに親子連れら約1000人が参加。それぞれの第一人者から指導をもらい、子どもたちは楽しいひとときを過ごしていました。

ミニフォト

秋葉山で、ご来光を拝む



秋葉山からの初日の出

1月1日、総社青年会議所が主催する恒例の秋葉山初日の出参拝式が行われ、初日の出を見ようと約200人が参加。訪れた人たちは、「この一年が良い年になれば」と話しながら、ご来光を拝み、心新たに新年を迎えていました。

杉田さん 100歳おめでとう



祝福される杉田さん

12月15日、杉田サカへさん(井尻野)が満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。95歳まで、ゲートボールや犬の散歩などをしてきた杉田さん。長寿の秘訣は、「好き嫌いをせず、食べること」だそうです。

万引きはいけません



万引き防止の寸劇の一場面

万引き防止教室が12月12日、総社西中学校で開かれました。中学生2人が万引きをし、店員に捕まり、警察や親が来るという寸劇を、警察署員や同校教諭らが披露。「万引きは、絶対にしないこと」と生徒に強く訴えていました。

お正月用品を求めて



しめ縄を買い求める人々

12月の神が辻日曜ふれあい市は、他の月より1週遅い第4日曜日の28日、市役所駐車場で開催されました。約60の店が出店。しめ縄や花、食品などの正月用品を求めて多くの買い物客で、会場はにぎわいました。

とんどでにぎわう



餅をあぶる人々

1月12日、美袋八幡神社で、とんど祭りが開かれ、多くの人でにぎわいました。積み上げられたしめ縄に火が付くと、その火で餅をあぶったり、書き初めを焼いたり、訪れた人たちは、一年の無病や字の上達を願っていました。

井原線の10周年を祝う



この日がデビューの井原線

1月11日、開業10周年を迎えた井原線。沿線の各駅で記念イベントが行われました。総社駅でも、甘酒の無料サービスや特産品の販売などを実施。開業10周年を祝いました。皆さん、井原線を引き続きよろしく願います。